

式 典 次 第

<p>■開会式 第1日 9:00(集合完了8:55) 集合 各校旗手が整列 (メインスタンドに向かって右より大津商・大津……と4ページ学校順に整列)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開式通告 2. 国旗・高体連・滋賀陸協旗掲揚 3. 優勝杯・優勝盾返還・レプリカ授与 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>男子総合</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>トラック</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>フィールド</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>女子総合</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>トラック</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>フィールド</td><td>彦根翔西館高校</td></tr> </table> 4. 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 中村 公治 5. 競技開始宣言 審判長 6. 選手代表宣誓 草津東高校 松波 育実 7. 閉式通告 	男子総合	草津東高校	トラック	草津東高校	フィールド	草津東高校	女子総合	草津東高校	トラック	草津東高校	フィールド	彦根翔西館高校	<p>■閉会式 第3日 (競技終了後) 集合 関係する選手</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開式通告 2. 成績発表 3. 表彰 賞状・優勝杯・優勝盾授与 4. 大会新記録樹立者紹介 最優秀選手賞授与(男・女) 総合優勝監督賞授与(男・女) 5. 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 中村 公治 6. 国旗・高体連・滋賀陸協旗降納 7. 閉式通告
男子総合	草津東高校												
トラック	草津東高校												
フィールド	草津東高校												
女子総合	草津東高校												
トラック	草津東高校												
フィールド	彦根翔西館高校												

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

2021年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- ①選手招集は雨天練習場で行う。
- ②招集開始時刻が来たら係員にアスリートビブスとスパイクの確認を受け、選手係の誘導指示に従う。最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに招集所に「二種目同時届」を提出すること。
- ③止むなく欠場する場合は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに競技者係に提出すること。用紙は招集所に置く。
- ④招集時刻(競技開始時刻を基準とする。)

トラック競技予選								
男女 100m・200m・400m			男子 800m・110mH 女子 800m・100mH 男女 400mH・4×100m			男子 1500m 男女 4×400m		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～	15分前	5分前	3～	15分前	5分前
9～	5分前	5分後						

トラック	
準決勝・決勝	
開始	完了
25分前	15分前

フィールド			
跳躍		投てき	
開始	完了	開始	完了
40分前	30分前	40分前	30分前

⑤リレーに出場するチームは、その種目（第1組）招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し提出すること。また決勝においてもメンバー、オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

⑥ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは、類似の機器を競技場内に持ち込むことを禁止する。

3. アスリートビブスについて

①アスリートビブスは必ず胸、背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。別ビブスを使用する場合は招集場で受け取り、ゴール後は直ちにフィニッシュ地点で係に返却すること。

②写真判定にともなう腰ナンバーカード標識は、右側後方につけること。

4. 競技の抽選および番組編成について

①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）は全て番組編成員が行う。

②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。ただし、オープンレーンの競技（800mは除く）の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。

5. 競技について

①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。

②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

（男子）5000m 18分 5000mW 33分 （女子）3000m 13分 5000mW 37分

③男子5000mに出場のチームについては、出場1名につき、1名の周回補助員をつけること。周回補助員は、競技開始10分前には、フィニッシュ付近に集合しておくこと。

④計測記録については下記のとおりとする。

男子	1年	2年	女子	1年	2年
走幅跳	5m00	5m50	—	—	—
砲丸投	6m00	8m00	—	—	—
円盤投	15m00	25m00	—	—	—
やり投	25m00	35m00	—	—	—

⑤三段跳の踏切板は、砂場から1年男子10m00、2年男子12m00、女子9m00および10m00の地点に設置する。

⑥男子棒高跳に出場する競技者は、女子の棒高跳競技終了後から招集開始時刻までの間、棒高跳ピットを使用して練習することができる。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男子	走高跳（1年）	1m45、1m65	1m50-55-60-65-70-75-78-81-84 以降3cm刻み
	走高跳（2年）	1m50、1m75	1m55-60-65-70-75-80-85-88-91 以降3cm刻み
	棒高跳	任意の高さ	2m20-40-50-60-70-80-90-3m00 以降10cm刻み
女子	走高跳（1年）	1m20、1m40	1m25-30-35-40-43-46-49-52-55 以降3cm刻み
	走高跳（2年）	1m20、1m45	1m25-30-35-40-45-48-51-54-57 以降3cm刻み
	棒高跳	任意の高さ	1m80-2m00-10-20-30-40-50-60 以降10cm刻み

同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の鞋底（ソール）の厚さについては、TR5.5およびTR5.13に準じて招集で確認する。フィールド競技においては、TR5.5およびTR5.13の適用を除外する。
- ⑤皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

8. 表彰について

- ①男女別総合優勝には優勝杯を授与して表彰する。
- ②男女別総合1位～6位には賞状を授与する。表彰は3位までとする。
- ③男女別トラック・フィールド優勝校に、優勝盾と賞状を授与して表彰する。
- ④男女学年別総合得点1位～3位までの学校に賞状を授与して表彰する。
- ⑤各種目1位～3位までの入賞者に賞状を授与する。成績発表のアナウンスがあった後に玄関ロビーに取りに行くこと。なお、その時に近畿ユースの申込をおこなうこと。（表彰は行わない）
- ⑥男女最優秀選手1名の表彰をする。
- ⑦大会新記録樹立者を表彰する。
- ⑧男女別総合優勝校の監督に盾を授与して表彰する。

9. その他

- ①大会規程、注意事項（申合せ）に反した場合は失格になることがある。スポーツマンとして、又、高校生としてはずかしくない行動をとり、終始礼節を守り、意気に燃えて競技すること。
- ②各種目の得点は1位8点～8位1点とする（リレー種目の得点は、総合の部のみに加算する）。本大会の成績にもとづいて各種目3位までの入賞者（リレー種目は6位までの入賞チーム）は近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会（京都・たけびしスタジアム京都）に出場することができる。但し、走高跳・棒高跳は3位までの入賞者3名とする。
- ③競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ④決勝審判台付近に立ち寄ったり、本部前を通行したりすることを禁止する。
- ⑤貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ⑥競技場の清掃に留意すること。ゴミは持ち帰りを基本とする。コンテナが設置されている場合は、使用してもよい。各チームで使用した場所は責任をもって清掃すること。（競技場内のゴミ箱は使用しないこと。）
- ⑦大会で使用した競技場の清掃については、下記の学校（当番校）でお願いします。

正面スタンド	虎姫・甲南高等養護	男子更衣室及び男子トイレ	彦根東
芝スタンド・競技場外周	伊吹・彦根総合	女子更衣室及び女子トイレ	水口・日野
スタンド男子トイレ	近江	玄関及び役員室	彦根翔西館
スタンド女子トイレ	膳所	室内練習場	彦根工・八幡